



お申し込み

こくちーずよりお申し込みください。

<https://www.kokuchpro.com/event/544155275a9a2a031e8240c82cab28e9/>

お問い合わせ：手塚千尋（明治学院大学）

tetsuka@psy.meijigakuin.ac.jp

この講座は、私が視覚障害がある人々と共に美術館の扉を叩き、新しい美術の世界を開いていったプロセスや取組みを講話とワークショップで体感していただくことを目的としています。これまで、日本の盲学校やミュージアムでは、まず触って認識できることを重視しました。その後、視覚障害がある人々自身が「さわるものが許可されていないものも知りたい（見たい）」と思うようになりました。そして今、視覚障害がある人々が視覚以外の感覚を使ったり、対話したりしながら美術と向き合う冒険が続いています。五感を全開にして世界を感じたり、対話を通して表現や鑑賞を深めていくことは、現在の学校の美術教育でも大切にされていることです。しかし、視覚障害がある人々にとっての感覚の解放や対話の充実は、これとは異なる成り立ちを経て、ひとつの自立した文化となり、新しい美術の世界を生み出しています。本講座では、そうした出来事や流れを紹介し、真に視覚から解放された美術とは何か、を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

日野陽子（ひの・ようこ）

兵庫県生まれ。大阪教育大学大学院修了。香川大学教育学部講師、准教授を経て、2012年より京都教育大学准教授。専門は美術教育学。近年の研究テーマは、視覚障害がある人々と共に行う美術活動（表現、鑑賞）、病院におけるアートの役割等。2012年から、国立病院機構四国こどもとおとなの医療センターにおける絵画プロジェクト「風の伝言」運営協力。2017年度より京都国立近代美術館の所蔵品の触察ツール「さわるコレクション」を作成。



■明治学院大学白金校舎へのアクセス

- ・品川駅から高輪口より都営バス「目黒駅前」行き「明治学院前」下車
- ・目黒駅から東口より都営バス「大井競馬場前」行き「明治学院前」下車
- ・白金台駅から東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線 2 番出口（白金高輪側 / エレベーター有）より徒歩約 7 分
- ・白金高輪駅から東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線 1 番出口（目黒側 / エレベーター有）より徒歩 7 分
- ・高輪台駅から 都営地下鉄浅草線 A2 番出口より徒歩約 7 分

■明治学院大学白金キャンパス学内地図



本館地上階（2 階）1253 教室



目で見る美術を乗り越えて

—見えない・見えにくい人と共につくるアート—

2020年1月11日（土）

〒108-8636

東京都港区白金台1-2-37

明治学院大学白金キャンパス

本館地上階 1253 教室

講師 日野陽子 京都教育大学 准教授

講話・ワークショップ 13時30分～16時45分

会費 一般 4000円

会員・学生・院生 2000円

